

「文化スポーツ創造のまち・まつど」推進方針(案) 概要版

1 概要

(1) 本方針の役割

- 本市では、文化政策及びスポーツ政策を積極的に推進するために文化スポーツ部を設置しました。(令和6年度)
- 今後の「松戸市の文化政策及びスポーツ政策の目指す方向性」を示すことを目的として、「文化スポーツ創造のまち・まつど」推進方針(以下「本方針」とする。))を策定します。
- 本方針を通じて、行政と市民、団体、企業などの多様な主体の協働により、地域において戦略的に「文化とスポーツによるまちづくり」を推進していきます。

(2) 計画期間

- 計画期間は、令和8年度から令和11年度までとします。
- 本方針に基づく各施策は、社会情勢の変化や市民ニーズに対応し、進捗状況に応じて柔軟に見直しを図ります。

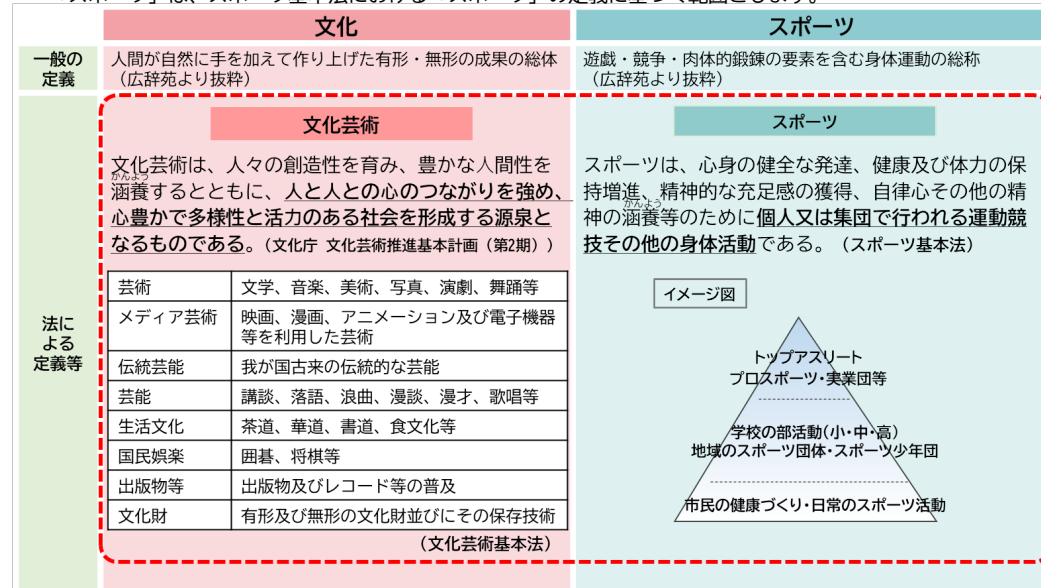
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
松戸市総合計画	計画期間R4-R11								
本方針					計画期間R8-R11				

(3) 位置づけ

- 本方針は、国の「文化芸術基本法」及び「スポーツ基本法」等の法律並びに基本計画、県の計画をひかえ、本市における文化政策及びスポーツ政策の計画の上位に位置づけます。

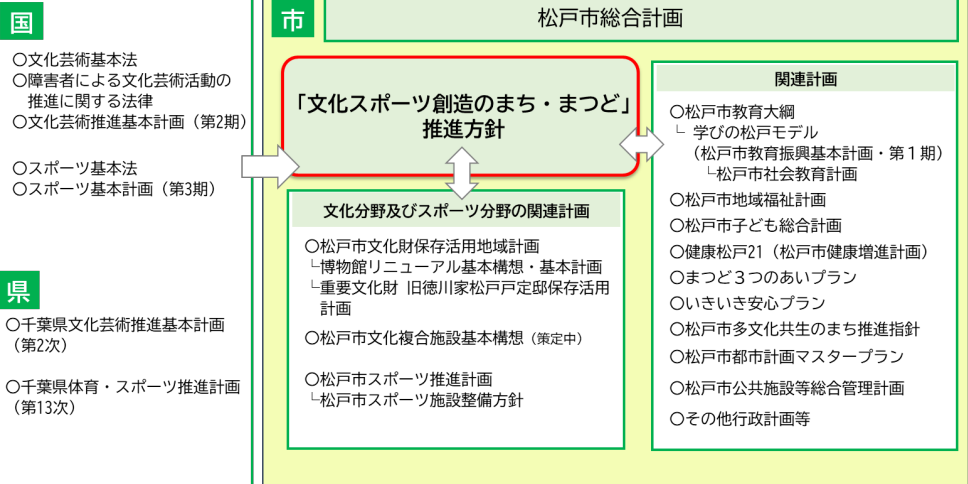
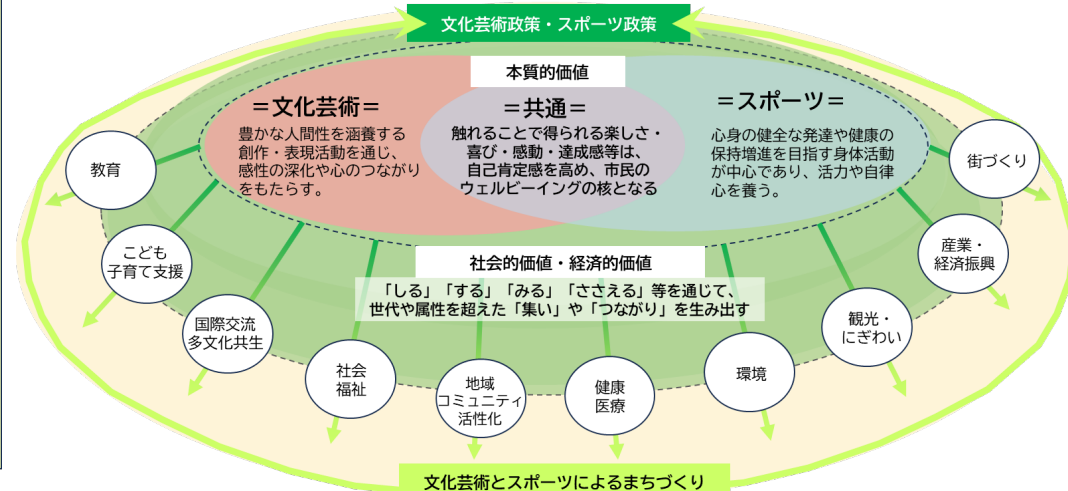
(4) 本方針が対象とする文化とスポーツの範囲

- 本方針において、「文化」は、文化芸術基本法における「文化芸術」を、「スポーツ」は、スポーツ基本法における「スポーツ」の定義に基づく範囲とします。



【参考】 本方針の意義とまちづくり

- 地方自治体における文化芸術政策とスポーツ政策において、「文化芸術」と「スポーツ」はそれぞれ固有の目的と本質的価値を持つ一方、「しる」「する」「みる」「ささえる」等を通じて、世代や属性を超えた「集い」や「つながり」を生み出し、教育・福祉・観光・産業振興など、多様な分野にプラスとなる社会的価値や経済的価値ももたらします。
- 本方針では、文化芸術政策とスポーツ政策を個別に捉えるのではなく、豊かな市民生活を支える社会インフラとして一体的に捉え、境界を越えた相乗効果を創出することで、都市の活力へとつなげる戦略的なまちづくりを推進することとします。



2 「文化スポーツ創造のまち・まつど」推進方針

(1)めざまちの姿

文化芸術とスポーツで

創造し躍動するまち・まつど

(2) 5つの戦略

戦略1	子ども・青少年が文化芸術とスポーツに身近に触れられる環境をつくります
戦略2	文化芸術とスポーツを通じて地域のつながりを育みます
戦略3	まつどの魅力を育み、市民の誇りと活力にします
戦略4	文化芸術とスポーツの活動ができる環境整備を進めます
戦略5	文化芸術とスポーツを支える持続可能な基盤を作り、担い手を育てます

5つの戦略を相互に関連・補完させながら一体的に推進し、めざまちの姿の実現を図ります。

戦略3 まつどの魅力を育み、市民の誇りと活力にします

施策3-1 歴史的資源の継承と活用を進めます

- 松戸の歴史文化を市民が身近に感じられるように、博物館、戸定邸、旧齋藤邸などの活用とともに、地域の歴史文化を学び、交流する場や機会を創出します。
- 歴史的建造物等を、会議・レセプション・イベントなどを開催できるユニークバニユー（特別な体験ができる会場）として活用し、松戸ならではの非日常的な体験を提供します。
- デジタル技術による歴史的資源の可視化や多言語発信により、市民が郷土の歴史・価値を再発見し、自ら発信しなくなる環境を整えます。

施策3-2 多様な地域資源により、新たな魅力を共創します

- 歴史、アート、音楽、ダンス、スポーツ、ポップカルチャー（コスプレなど）、食文化などの地域資源を活用・応援し、更なる魅力向上を図ります。
- 地域に深く根付く祭事などに対し、市民の絆と郷土愛を育む資源として継続支援するとともに、地域の風土と歴史に根ざす「松戸らしさ」を表現するアートや創作活動についても応援していきます。
- 地域資源の融合による取組や分野横断的な連携を促進し、松戸市独自の新たな価値の創出と交流・関係人口の拡大を図り、地域を活性化させます。
- 本市の歴史や風土を深く掘り下げ、新たな芸術表現として再構築することで、常に変化を創造するまちを実践します。

施策3-3 文化芸術とスポーツを通じた市民の活躍を市民みんなで応援します

- 活躍するアスリート・アーティストと市民の交流機会を増やすことで、文化芸術とスポーツでの活躍をまち全体で応援する風土を醸成します。

施策3-4 文化芸術とスポーツにより、地域の活力を創出します

- 文化芸術の質の高い公演や多彩な取組を松戸で開催し、第一線で活躍するアーティストの優れた表現や技術に触れられる機会を増やし、市民の「みる」楽しみの充実と地域の活性化を図ります。
- プロスポーツチーム・実業団との連携やトップアスリートとの交流、競技力向上と交流促進の拠点となる施設整備を通じて、スポーツによるまちづくりを推進します。

関連施策 社会教育・文化財 観光・にぎわい 産業・経済振興

(3) 施策／関連施策

戦略1 子ども・青少年が文化芸術とスポーツに身近に触れられる環境をつくります

施策1-1 主体的に参加できる文化芸術とスポーツの居場所づくりを進めます

- デジタル技術を活用した創造的活動（プログラミングなど）、音楽、スポーツ、eスポーツなどの多様な体験ができる居場所づくりを進め、子どもの主体的な参加を促します。

施策1-2 身近な地域で文化芸術とスポーツの取り組みを充実させます

- 身近な地域で、子ども・青少年の文化芸術活動・スポーツ活動を充実させるとともに、部活動の地域展開の推進を図るため、学校、地域団体等と連携を進めます。
- 子ども・青少年の技術向上と心身の健全な発達を支えるため、地域で指導者の育成・確保を進めます。
- アーティスト、トップアスリート、学芸員等の専門家によるワークショップや学校訪問など、子ども・青少年が本物の技や表現に触れる機会を増やすことで、夢を描き、挑戦しつづけられる風土を醸成します。

施策1-3 文化芸術とスポーツを通じた子ども・青少年の活躍を応援します

- デジタルコンテンツ、ポップカルチャー、ユースカルチャーなど、時代の変化によって生まれる新たな文化も応援し、活動場所の提供や発表の機会を充実させます。子ども・青少年への表彰・応援制度を充実させます。

施策1-4 地域の文化芸術やスポーツに関する情報をわかりやすく届けます

- 地域の文化芸術活動やスポーツ活動に関する情報を、デジタル化、多言語化、ビジュアル化などを通じて、わかりやすく届けます。
- 今まで関心の薄かった層への情報発信を工夫し、関心の入口や活動する人の裾野を広げます。

関連施策 学校教育 社会教育 子ども・子育て支援 子どもの未来応援

戦略4 文化芸術とスポーツの活動ができる環境整備を進めます

施策4-1 文化芸術とスポーツに関かれた公共空間を増やします

- 駅デッキ、道路、河川敷、広場、公園、公共施設などにおいて、文化芸術やスポーツの活動が可能となるよう、関係部局と連携しながら、規制緩和、運用の弾力化、Park-PTIなどの様々な官民連携手法の活用や仕組みづくりの検討を進めます。
- 学校の教育活動に支障のない範囲で、体育館、グラウンド、特別教室を地域の文化芸術活動やスポーツ活動の場として開放することを旨じます。
- 街を歩くだけで文化芸術やスポーツを感じられる「ウォークパルなまちづくり」を進めます。

施策4-2 施設の更新と利便性の向上を図ります

- 老朽化した文化施設とスポーツ施設に対し、計画的な大規模改修やバリアフリー化を推進し、障害の有無や年齢に関わらず誰もが安心して利用できる環境を目指します。
- 運用の弾力化や手続きの簡素化など、市民の利便性向上を図ります。
- 活動の様子が外からも見える工夫など、誰もが気軽に立ち寄れる開かれた施設を目指します。

施策4-3 未来を拓く次世代型活動拠点を整備します

- 図書館、アートセンター、ホールなど、多様な機能がシームレスにつながり、誰もが気軽に立ち寄れる松戸ならではの文化複合施設を整備します。
- スポーツ、レクリエーション、憩いの場が一体となり、初心者から上級者まで、多世代がスポーツを通じて自然に集い、交流できる拠点「(仮称)スポーツパークまつど」を整備します。

施策4-4 主体的に参加できる文化芸術とスポーツの居場所づくりを進めます【1-1再掲】

関連施策 街づくり(公園・道路など) 公共施設再編

戦略2 文化芸術とスポーツを通じて地域のつながりを育みます

施策2-1 文化芸術とスポーツを通じて社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）を推進します

- パラスポーツ・デフスポーツの普及や交流を通じ、障害の有無にかかわらず、「しる・する・みる・ささえる」等の多様な参画や主体的に関われる機会を創出します。
- 障害者アート等の展示・発表の機会を広げるとともに、文化芸術活動を通じて多様性を理解し、社会的な役割や生きがいにつながる環境を作ります。
- 高齢者の多様な経験や知識を活かし、文化芸術やスポーツ活動による多世代交流を進めます。
- 国や文化の枠を超えた文化芸術やスポーツによる交流を通じて、多様な価値観を認め合い、地域の一員としての認識と相互理解を深めます。

施策2-2 ライフステージに応じたきっかけづくりと継続できる環境整備を進めます

- 地域の歴史文化や多様な文化芸術に触れる機会を充実させるとともに、活動したい人が主体的に活動できる支援や発表の場づくりを継続して行います。
- 「松戸市七草マラソン大会」、地域スポーツ大会、プロスポーツチーム等との連携による体験プログラムの充実など、市民のライフステージに応じた、スポーツを始めるきっかけづくりと継続できる環境整備を進めます。

施策2-3 文化芸術とスポーツを通じて健康づくりを推進します

- スポーツ推進委員によるグランドゴルフなど様々な種目のスポーツ教室や文化財を活用したウォーキングイベントなど、全世代が楽しみながら運動習慣を身につけられる仕組みづくりを進めます。
- 文化芸術やスポーツを通じて、楽しみながら体を動かしたり、人と触れ合ったりする機会を増やすことで、高齢者の社会的孤立を防ぎ、フレイル予防、認知症予防、健康寿命の延伸に寄与する活動を推進します。

施策2-4 地域の文化芸術やスポーツに関する情報をわかりやすく届けます【1-4再掲】

関連施策 地域コミュニティ・地域活性化 社会福祉 健康医療 国際交流・多文化共生

戦略5 文化芸術とスポーツを支える持続可能な基盤を作り、担い手を育てます

施策5-1 松戸版アーツカウンシルによる伴走型支援の仕組みをつくります

- 地域の実情に精通した専門家による支援組織「松戸版アーツカウンシル」を構築し、多様な文化芸術活動に対し、企画立案・助言・広報等の伴走型支援を展開することで、文化芸術活動の質的向上、地域・企業・教育機関等とのネットワーク強化、担い手育成を図ります。

施策5-2 スポーツの推進基盤（プラットフォーム）を整えます

- スポーツ協会、プロスポーツチーム、教育機関、民間企業等、既存の組織や団体との連携を強化し、各主体の強みを活かした共同プロジェクトや包括連携協定に基づく多角的な支援など、地域が一体となってスポーツを支えます。
- スポーツの指導や救急法、パラスポーツ等の理解を深める研修を定期的に実施し、全ての市民が安心してスポーツを楽しめるよう、指導者を育成します。

施策5-3 対話的評価（ピアレビュー）による定性的評価を導入します

- 専門家や実践者同士が対話を通じて活動を定性的に振り返る「ピアレビュー」を導入し、数値化しづらい文化芸術施策やスポーツ施策の価値を可視化し、活動の独自性や社会的価値を評価する仕組みづくりを進めます。

施策5-4 文化芸術とスポーツ活動を支える投資や支援を呼び込みます

- ネーミングライツ、ふるさと納税（ガバメントクラウドファンディング）、SIB（ソーシャルインパクトボンド）等の官民連携の仕組みを活用し、資金や多様な支援を呼び込みます。
- 活動団体が、寄付、協賛、受益者負担等を通じて自主財源を確保し、活動の質を自ら高めていけるよう、資金調達に関するノウハウや学習機会を提供します。